【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-295206(P2003-295206A)
【公開日】平成15年10月15日(2003.10.15)
【出願番号】特願2002-96076(P2002-96076)
【国際特許分類第７版】
　ＧＯ２Ｆ　1/1341
　ＧＯ２Ｆ　1/1333
【ＦＩ】
　ＧＯ２Ｆ　1/1341
　ＧＯ２Ｆ　1/1333

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月8日(2005.2.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　対向して配置された一対の基板と、前記一対の基板間に封入された液晶と、前記一対の基板の周縁を封止するシール材とを有する液晶表示装置において、
　前記一対の基板間に前記液晶を注入する際における前記液晶の注入速度を、前記シール材の近傍において遅らせるための構造物が、前記シール材の近傍に設けられている
　ことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項２】
　請求項１記載の液晶表示装置において、
　垂直配向型である
　ことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項３】
　請求項１又は２記載の液晶表示装置において、
　前記液晶は重合性成分を含んでおり、
　前記構造物は、前記液晶を注入する方向に沿った辺における前記シール材の近傍に形成されている
　ことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項４】
　請求項３記載の液晶表示装置において、
　前記構造物は、前記液晶を注入する方向に沿った辺に対してほぼ垂直方向に突出している
　ことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項５】
　請求項１乃至４のいずれか１項に記載の液晶表示装置において、
　前記構造物により、前記シール材の近傍における前記液晶の厚さが、表示領域における前記液晶の厚さより薄くなっている
　ことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項６】
　対向して配置された一対の基板と、前記一対の基板間に封入された液晶と、前記一対の

基板の周縁を封止するシール材とを有する垂直配向型の液晶表示装置の製造方法において、

前記一対の基板間に重合性成分を含んでいる前記液晶を注入する工程では、前記シール材の近傍領域における前記液晶の注入速度が、表示領域における前記液晶の注入速度より遅くなるように、前記一対の基板間に前記液晶を注入する

ことを特徴とする液晶表示装置の製造方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

また、上記目的は、対向して配置された一対の基板と、前記一対の基板間に封入された液晶と、前記一対の基板の周縁を封止するシール材とを有する垂直配向型の液晶表示装置の製造方法において、前記一対の基板間に重合性成分を含んでいる前記液晶を注入する工程では、前記シール材の近傍領域における前記液晶の注入速度が、表示領域における前記液晶の注入速度より遅くなるように、前記一対の基板間に前記液晶を注入することを特徴とする液晶表示装置の製造方法により達成される。